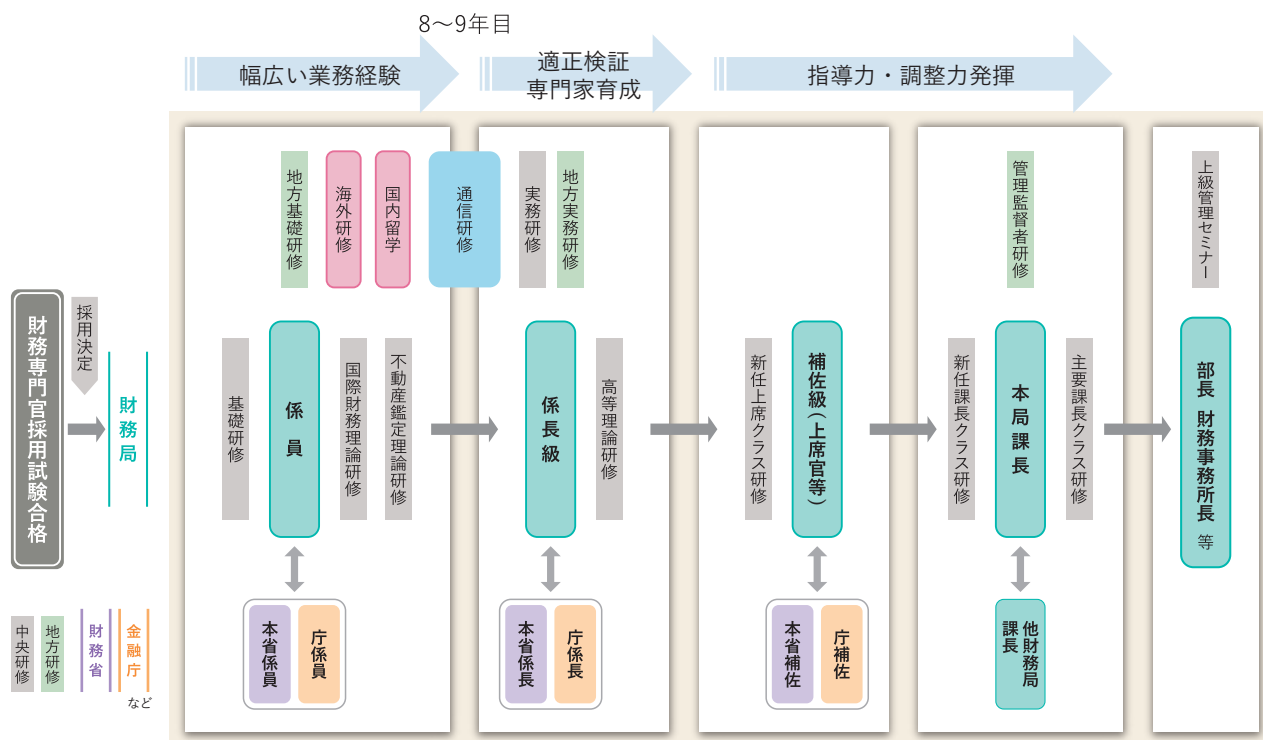


財務専門官のキャリアパス



充実したサポート体制

北陸財務局では、職員のキャリアパスに応じた研修体系の下で、財務に関する専門知識の習得のための研修を行っています。研修は西ヶ原研修合同庁舎内の財務総合政策研究所研修部（東京都北区）で実施する中央研修、各財務局で実施する地方研修、自学学習の通信研修の3つから構成されています。

基礎研修（新規採用職員等向け）

《中央研修》

○基礎研修

西ヶ原研修合同庁舎を会場に、本省・財務局に新規に採用された職員を対象に、採用直後の4月から5月末にかけてオンライン研修、OJT、集合研修を実施します。財務省職員としての基礎知識、ビジネスマナーに関する講義のほか、所管業務に係る専門的かつ実務的な講義を実施しています。

《地方研修》

○地方基礎研修

上記中央研修終了後、各財務局において、地域の実情に応じた基本実務、専門実務を習得するための研修を実施しています。

○配属別転課者研修（経済調査、財務、金融、管財）

新たな業務の系統に異動した職員を対象に、配属先の系統別に、実務に関する基礎知識を習得するための研修を実施しています。

実務研修（係長向け）

業務に必要な専門的・実務的知識や理論を習得させるための研修として、約50コース（経済調査事務、主計事務、モニタリング実務、国有財産総合等）を設け、財務局のほとんどの業務をカバーしています。

特別理論研修（中堅係員から係長向け）

財務専門官の中核的人材を育成するために、より高度な専門知識・理論や教養等を習得するための研修を実施しています。

《中央研修》

○国際財務理論研修

中堅係員以上を対象に、業務の国際化に対応した国際財務報告基準等の知識を習得させるもので、国内研修と海外研修で構成されています。

○不動産鑑定理論研修

不動産に関する行政法規、不動産鑑定理論に関する高度な知識を習得させるための研修を実施しています。

○高等理論研修

係長クラスを対象にした公募・選抜型研修であり、社会経済環境の変化に対応するため体系的に財務に関する知識・理論を習得するとともに、業務遂行能力の向上や指導力・調整力の涵養を図り、今後の財務局行政の中核となりうる職員を養成します。

通信研修

業務に関する知識等の習得のため、「財務会計」「宅地建物取引理論」「金融」「ファイナンシャルプランナー」「ビジネス実務法務」「中小企業診断技能」「英語」等の各コースを用意しています。

多くの発見・学びを得られる職場 ～海外派遣研修に参加して～



PROFILE

平成27年度 採用

谷本 有

Tanimoto Yu

福井財務事務所
財務課 調査官

私は青年海外派遣研修に参加し、約3週間、バルト3国の1つ、ラトビア共和国を訪問しました。この研修は、全国の青年を海外へ派遣し、派遣先でのプログラムを通して国際社会で活躍できる青年を育成することを目的としたもので、大統領への表敬訪問や現地青年とのディスカッション、ホームステイなどを体験しました。

現地では、政府機関を訪問したり、スタートアップ企業のお話を聞いたり、広大な森林をサイクリングしたり、と様々な体験をしたのですが、特に印象深いのは現地の青年たちとの交流です。同年代でありながら、自分とは比較にならない語学力、ディスカッション技術をもつ彼らに圧倒されると同時に、そうした能力の背景には、「ラトビアが小国だからこそ、国境を越えて活躍できる人材にならなければならない」という強い向上心があることを知り、とても刺激を受けました。圧倒的な能力の差に悔しい気持ちになることもありましたが、それも、この研修に参加しなければ得られなかった体験であり、「自分もこうなりたい」というモチベーションが芽生えるとともに、自分のスキルアップについて考える契機となりました。

この研修に参加するにあたっては、職場を長期間、離れることになりましたが、その際には、上司が業務の調整をしてくれ、快く研修に送り出してくれました。

私は、財務局という職場の魅力は大きく2つあると感じており、そのうちの1つが、職員の教育環境が充実していることだと考えています。財務局では、海外派遣研修に限らず、幅広い研修メニューが用意されており、職員の興味関心に合わせて学ぶことができます。私も資格取得に向けて、この研修制度を活用しています。

2つ目は、選択肢の多さです。北陸財務局では、北陸3県のみならず、東京（財務省、金融庁）で働くことも可能で、さらに業務範囲も幅広いことから、「働く場所」「業務内容」の選択肢が豊富だと思います。私が大学生だったころ、自分自身、やりたい仕事や将来のキャリアプラン等がまだまだ定まっておらず、どう

基準で自分の職業を選択すべきなのか、とても迷った記憶があります。結果として、就職後の選択肢が多そうな財務局を選んだのですが、今振り返ってみても、とてもいい選択だったと思っています。私は今、入局して8年目を迎えるのですが、最近やっと自分の適性や、理想とするキャリアプランが見えてきたと感じています。そしてそれは、様々な業務にかかわり、転勤や派遣研修などを経験できたからこそ、見えてきたものだと思います。

財務局、という名前を聞いても、なかなか職場のイメージがわからないと思うのですが（私は、就職活動を始めるまで存在を知りませんでした）、とても良い職場だと思うので、ぜひ、インターネットで検索してみたり、説明会に参加してみたり、存在を知っていただけたら嬉しいです。そして、「働く場」の候補の1つとして考えてみていただけたら、とても嬉しいです。

